

第24回益城町人権フェスティバル

部落差別をはじめ身近にある差別に気づき、町民一人一人が人権を大切にするまちづくりを実現するため、「第24回益城町人権フェスティバル」を開催します。会場では、人権問題について考えるテーマに基づいた絵画・習字・人権標語などの作品を展示しますので、ぜひお越しください。

●期間

1月21日(土)～23日(月)

午前9時～午後5時(23日は午後4時まで)

●場所

交流情報センターミナテラス 視聴覚室

●問い合わせ

益城町人権フェスティバル実行委員会事務局
(生涯学習課) ☎286-3337



MASHIKI TOWN
結婚対策協議会
クローバーまじき
ニュース
For Good Marriage

Vol.70



最近の結婚事情と相手の条件は？

国内の結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるため、5年ごとに出生動向基本調査(全国標本調査)が行われています。

令和4年9月に公表された最新の結果によると、最近の結婚事情として、職場や友人を介した結婚が減り、インターネットサービスを利用して知り合った夫婦が13.6%を占めています。

結婚相手の条件では、男性は女性の経済力を考慮し、女性は男性の家事・育児の能力や姿勢を重視する割合が大きく上昇しているようです。

この結果を見て、時代の流れに沿ったマインドを養うことは、婚活をする上で重要かもしれません。

問 益城町結婚対策協議会 (総務課 男女共同参画係)

☎286-6665 FAX286-4523

✉ danjyo@town.mashiki.lg.jp

人権教育シリーズ

益城町教育委員会

Vol.500

これからの人権教育シリーズ

今回は、この「人権教育シリーズ(同和教育シリーズ)」が始まって500回目です。さまざまな人権問題について取り上げてきましたが、その根底にはいつも部落問題の解決が最重要課題としてありました。

しかし、残念なことに、この2年間でも、県内で公共の場への差別的な落書きや、役所への問い合わせなど13件の差別事象が確認されています。こうした事象が発生するたびに、「どうしてそんな人を傷つける行為が発生するのか」、「どうすればそのような行為がなくなるのか」を考えさせられます。

インターネットなどの普及により、いつ誰が差別事象の被害者・加害者になるか分からない時代になりました。差別は、私たち一人ひとりにとって差し迫った問題となっています。部落差別の解決には、まず正しい知識を持つことが大切です。現在は部落差別に関する歴史の見直しも行われています。予断と偏見をなくすためにも、新しい歴史観を学んでいきたいものです。また、さまざまな人権問題についても、部落差別の不合理さを学ぶことで、差別をなくしていく道筋を知ることができます。

本町では、令和3年9月に「益城町部落差別等をなくし人権を擁護する条例」を施行、令和4年7月には「益城町人権教育・啓発基本計画」の2次改訂を終え、町民の皆さんのお手元にも概要版が届けてあります。これは、これから町が人権に関する啓発や相談活動を積極的に進めたいという、強い願いが込められています。

これからの本シリーズは、さまざまな人権問題に注目しながら、さらに部落問題についても現在の状況や新しい情報などをお届けしていきます。より具体的に差別をなくしていくための取り組みも発信していきますので、一緒に考えていきましょう。